

2016年(H28年)

10月

No. 301

# ひとはつうしん

(ホームページアドレス) <http://hitoha-fukushi.com>

(メールアドレス) [honbu@hitoha-fukushi.com](mailto:honbu@hitoha-fukushi.com)



## 社会福祉法人 ひとは福祉会

〒739-1203

広島県安芸高田市向原町長田1857番地

TEL (0826) 46-2960 FAX (0826) 46-7230

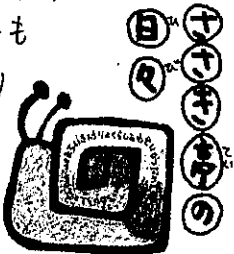
- 大雨には見舞われたものの、向原は大した被害もなく済みました。皆さんの地域はいかがでしたか。大禍のないことを祈っています。
- さて、先月号でも触れましたが、相模原事件からは多くの問いかけが突き付けられています。新聞報道をはじめ、月刊誌でも「世界」や「創」で大きく取り上げられ、まさにこの国における人間観そのものが問われようとしています。新自由主義の名の下で、いつの間にか、私たちの心の上に対しては卑屈になり、下に対しては傲慢になるという根が生じているのではないのでしょうか。速水敏彦さんは「仮想的有能感」と呼び、他者を軽視し、見下すことで、自分の方が優れていると満足する感覚を説明しています。
- もう一つの問いかけは「では施設は今までに社会に対して何を発信してきたか」ということです。虐待という人権侵害をはじめ、障がいのある人たちの存在を弱者として捉え、あるいは普通名詞(特に知的障がい者)の枠にはめ込んでしまい、一人一人の人間としての営みを顧みることなく、悪しきパターンリズムに身を任せていたのではないのでしょうか。
- 福祉は、いろんな制度を活用して、それぞれに自分らしく生きるための手段です。そして支援者は、自分らしく生きようとする人たちの思いに共感して、協働して共に生きる文化を発信する共同者であるのだと思います。
- その役割を担っていたのか、自らを振り返ってみたいと思います。ぜひあなたからの御拍掛を!

(理事長 寺尾 文尚)



先日、ささき亭に懐かしい方から電話がありました。それは、元スタッフの米重さん。「ひとはから贈り物もらったから、お礼に尺八を吹きに行ってもいいかな」と。縁側に座り、あまり多くは語らずに尺八を吹き始めた米重さん。飛び込みリサイタルの始まりです。一曲終わるごとにお客様からの拍手。「良い音色でした。」と声をかけられる方、楽譜を見られる方、仕事を忘れてくつろぐひとはの仲間。(テンポの速い!) 手拍子で盛り上げるささき亭の看板娘達、久しぶりの再会を喜ぶスタッフ。1時間以上、米重さんは吹き続けてくださいました。話を聞くと、40年以上吹かれているとのこと。終了後に常連のお客様がいらっしり、米重さんを紹介すると「ささき亭は最近何でもやるね」とホッリ。ささき亭だからできたことなのかもしれません。秋風と共に素敵な音色を届けてくださった米重さん、ありがとうございました。

～お知らせ～ (10月15日(土)まで「ぱらんの楽舎展-小野健一さんの作品展-」開催しています。



行	事	子	定	10月・11月	10/5	10/15
16	17 ひとは館 休み ささき亭 休み	18	19	20 * 花	21 あじさい横丁 (7425ル7-2)	22 シリビキやう ささき亭 臨時休業 (21, 22)
23	24 ひとは館 休み ささき亭 休み	25 * 花	26 トールペイント教室 (ささき亭)	27	28	29 フードフェスティバル (広島城周辺) ひとは館 休み
30	31 フードフェスティバル (広島城周辺) ささき亭 休み	1/1	2 エリカ園 サニエール幼稚園 バザー	3 文化の日 ささき亭 休み	4	5 花
6	7 ひとは館 休み ささき亭 休み	8	9	10	11	12 JAまつり (安芸高田市総合センター)
13 JAまつり(常盤総合センター) ささき亭 休み	14 ひとは館 休み ささき亭 休み	15	16 花	17	18	19

皆と一緒に過ごしていて、心地よく感じる場面には、よく歌や音楽が  
とまっています。

—メンテの作業場面—

音楽にあわせながらモップかけ。なんだか気分が乗らない時も、  
リズムにあわせているとだんだん気分が変わり、笑顔も出てきて軽快な  
足どりに。いつのまにか廊下もピカピカになります。休憩時、ちょっと  
ステキにクラシックを。お茶を飲みながら茶に体を揺らしてゆくり  
んが落ち着きます。歌や音楽を楽しむ日の豊かさを感ずる日々です。

(ひとは作業所 岡崎 祥)

# ひとはの母

農園にはとても仲の悪い2人がいました。会えば怒鳴り合いの  
ケンカが始まるので、2人を引き離すことばかり考えていました。  
ある時、皆でグラウンドゴルフをしていると、その2人が仲良くプレーを  
しているのです。遊ぶ時は仲良くできることが分かったのです。  
農園では仕事が終わったら、みんなでトランプをやることにしました。  
負けたらシッペをやることにして、真剣勝負が始まります。勝った  
負けたと笑い合いながら過ごすうちに、2人だけでなく皆の仲間  
意識が強くなってきました。(ひとは農園 丸岡 洋二)

## ひとはつうしん 300号 おめでとうございます!!

まさにその歩みを地道にひたむきに積み上げてこられた  
ご夫妻はじめスタッフの皆さんの思いが素朴にゆたらかに語られ  
ていて、つい魅力を感じざるを得ません。今後とも思う存分力を  
発揮してください。応援しています。

～広島市 遠藤 武司 さんより お祝いのコメントを頂きました～

## もしも、あの時...

新コーナー「もしも、あの時...」では、ひとはつうしん  
300号を記念し、「ひとはとつながったきっかけ」を  
縁のある方々に語って頂きます。

たかもしれません。幸せに変わって頂いてありがとうございます。  
(山石 木林 久美)

「ぼくの問題なのにお母さんと会社で決めてしまうた。  
という言葉にハッと胸をつかれました。私の中にも  
当てるはまることがあるからなのでしょう。もしも五年  
前の体験が無かったらひとはさんと出逢えなかつた  
かもかもしれません。幸せに変わって頂いてありがとうございます。  
直ることでできました。

また、文中の  
「ぼくの問題なのにお母さんと会社で決めてしまうた。」  
という言葉にハッと胸をつかれました。私の中にも  
当てるはまることがあるからなのでしょう。もしも五年  
前の体験が無かったらひとはさんと出逢えなかつた  
かもかもしれません。幸せに変わって頂いてありがとうございます。  
直ることでできました。

五年前、私は医療不信で悲しみの淵に沈んで  
いました。その頃、知人からひとはさんのお話を伺い  
後援会に入り「ゆたらかに」を頂きました。読ませて  
頂いたおかげで、私の心は温かなものになり、立ち  
直ることができました。



ひとはぼこでは、9月17日にパントマイムの村田美穂さんにお越し  
いただきました。「パントマイムって何だろう?」と、はじめは不思議  
そうに見つめる子どもたち。それが徐々に美穂さんの動きや表情  
に釘付けになり、「次は何をやるのかな?」と目を輝かせていました。何もつ  
けずの空間もみんながそれぞれ想像力を膨らませて、壁が見えたりぶどう  
が見えたり...。透明なバベルが落ち、こちそうになった時は咄嗟に「キー」  
と声が出てびっくりしていました。子どもも大人もみんな一緒に「不思議」や  
「楽しい」を共有し笑顔になった。とても素敵な時間でした。

(ひとはぼこ 三村 知美)





# スマイルあっぴ ふれあいフェア

と き：平成28年10月29日（土曜日）10：50～15：00

ところ：小原中央集会所「絆」（安芸高田市甲田町下小原 3472-7）  
（老人ホーム甲田さん向け）

## ステージ&企画

- T-house バンド演奏
  - 向原高校フラダンス部
  - 向原高校音楽部
  - あっぴ BAND
  - あっぴの日々 ビデオ上映
- その他作品展示等盛りだくさん！



## 飲食バザー&販売

うどん（小原振興会）  
カレー・フランクフルト・焼き芋  
コーヒー・ジュース・縄文あいす  
ごませんべい・かりん党・とんかかあられ  
小野健一氏 絵画作品等販売



## 体験コーナー

- リース作り体験
- さをり織り  
実演&体験（予定）



## お知らせ

10月29日（土）18時～19時に地域の子どもたちが  
おぼけに扮して下小原の町の中を歩きます！（ハロウィンナイト）  
あっぴフェア来場記念として先着50名様に素敵なプレゼントもあります！



【主催】障害福祉サービス事業所 就労センターあっぴ 【共催】放課後等デイサービス事業所 ひとはぼっこ

【後援】小原地域自治振興会（予定） 【協力】ぼらんの楽舎

お問い合わせ 就労センターあっぴ 担当：石川 E-mail appu@hitoha-fukushi.com

広島県安芸高田市甲田町下小原 222-2 Tel (0826) 45-7171